

## 事前教育一覧

獣医学部・獣医学科:

- ・獣医学概論(1 年前期)
  - 実験動物学概論とアニマルウェルフェア
- ・獣医倫理学(1 年前期・全 7 回、単位数1)
  - 獣医倫理学(導入)
  - 獣医師倫理の基本原則/動物保護法の歴史
  - 動物衛生とアニマルウェルフェア
  - 伴侶動物と産業動物の獣医療と獣医倫理について
  - 野生動物および展示動物と獣医倫理
  - 動物実験に関わる倫理学
  - 獣医倫理学(振り返り)
- ・実験動物学(2年生後期・全 14 回、単位数2)
  - 実験動物学の倫理
- ・実験動物学実習(2年生前期・全 10 回、単位数1)
  - 動物実験計画書の作成と評価
- 動物行動学(2 年生後期・全 14 回、単位数2))
  - アニマルウェルフェア

獣医学部・獣医保健看護学科:

- ・獣医保健看護学概論(1 年前期・全 14 回、単位数2)
  - 動物看護者の倫理と動物福祉
  - 動物実験における動物看護の考え方
- ・愛玩動物学(1 年前期・全 14 回、単位数2)
  - 犬の適切な飼養管理について
  - 猫の適切な飼養管理について
  - 動物の基本的な取扱い①・②
- ・動物トレーニング学(1年後期・全14回、単位数2)
  - 犬の飼育に必要な環境
  - 猫の飼育に必要な環境
- ・人と動物の関係学(2 年前期・全 14 回、単位数2)
  - 動物観
  - 動物愛護運動の歴史
  - 動物愛護・福祉の現状
  - 使役動物の歴史と福祉(1)・(2)

## 事前教育一覧

- 動物倫理・福祉(3年前期・全7回、単位数1)
  - 生命倫理・動物福祉とは
  - 獣医療倫理とは
  - 動物看護における倫理
  - 実験動物の福祉
  - 産業動物の福祉
  - 伴侶動物(愛玩動物)の福祉
  - 野生動物／展示動物の福祉
- 実験動物学(3年後期・全14回、単位数2)
  - 実験動物の歴史と変遷(1)(2)
  - 実験動物の比較:解剖と生理
  - 実験動物の遺伝育種と繁殖
  - 実験動物栄養学
  - 動物施設と環境
  - 実験動物の病気と感染
  - 実験医学の実際
  - 実験動物学各論(マウス、ラット、スナネズミ、ハムスター、ウサギ、モルモット、犬、猫、ブタ)
  - 実験動物代替法
- 人間動物関係論Ⅱ(4年前期・全14回、単位数2)
  - 愛玩動物の適正飼養とは(1)～(5)

## 事前教育一覧

### 実験動物の歴史と変遷(2):動物福祉と関連法規

応用生命科学部・動物科学科:

- ・動物資源科学概論(1年前期・全14回、単位数2)  
動物が感じるストレスとストレスに対する生体反応
- ・フレッシュゼミ(1年後期・全14回、単位数2)  
実験動物学教室担当分
- ・基礎実験動物学(1年前期・全14回、単位数2)  
実験動物学序論  
3Rsと動物の苦痛の分類  
飼育管理、輸送方法、特殊実験処置動物の管理(麻酔と疼痛管理)
- ・応用実験動物学(2年後期・全14回、単位数2)  
飼育と衛生(3Rsと5 Freedomsを含めた内容)  
施設と環境(行動とエンリッチメント)
- ・動物福祉・倫理論(1年後期・全14回、単位数2)  
動物と人間の関係史  
さまざまな動物観  
動物生命倫理  
動物に対する配慮の歴史と歴史的変遷  
動物福祉と動物愛護、動物の権利  
動物福祉と社会

## 事前教育一覧

動物福祉と教育、動物保護活動

動物福祉の評価

動物福祉の評価方法① 生理学的評価

動物福祉の評価方法② 行動学的評価

展示動物および野生動物の福祉

実験動物の福祉

産業動物の福祉

伴侶動物の福祉

生体を扱う可能性のある全教職員および全学生

動物実験教育訓練(90分程度) 2年毎の受講を義務づけています